【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第２区分
【発行日】令和5年1月19日(2023.1.19)

【公開番号】特開2021-118211(P2021-118211A)
【公開日】令和3年8月10日(2021.8.10)
【年通号数】公開・登録公報2021-036
【出願番号】特願2020-8770(P2020-8770)
【国際特許分類】
Ｈ０５Ｋ　7/20(2006.01)
Ｈ０５Ｋ　5/02(2006.01)
Ｈ０４Ｎ 23/51(2023.01)
【ＦＩ】
Ｈ０５Ｋ　7/20　　Ｂ
Ｈ０５Ｋ　5/02　　Ｔ
Ｈ０４Ｎ　5/225200

【手続補正書】
【提出日】令和4年12月28日(2022.12.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
第１の方向に長軸を有する筒状筐体と、
前記筒状筐体の一方の端部に嵌合される第１の蓋部と、を有し、
前記筒状筐体は、前記第１の蓋部と接する接合面よりも、前記第１の蓋部側に突出する第１の突出部を有し、
前記筒状筐体の内部に配される発熱体からの熱を伝導する熱伝導部材は、前記第１の方向と直交する第２の方向において、第１の幅を有する第１の領域と、前記第１の幅よりも長い第２の幅を有する第２の領域とを有し、
前記第１の領域と、前記第１の突出部とが固定されることにより、前記熱伝導部材と前記筒状筐体とが固定されることを特徴とする筐体。
【請求項２】
前記第１の突出部は、第１の開口部を有し、
前記熱伝導部材は、第２の開口部を有し、
前記第１の開口部と前記第２の開口部を介して、前記熱伝導部材と前記筒状筐体とを固定する固定部を有することを特徴とする請求項１に記載の筐体。
【請求項３】
前記筒状筐体の他方の端部に嵌合される第２の蓋部を有し、
前記筒状筐体は、前記第２の蓋部と接する接合面よりも、前記第２の蓋部側に突出する第２の突出部を有し、
前記第２の突出部は、前記熱伝導部材と前記筒状筐体を固定可能な構成を有することを特徴とする請求項１または２に記載の筐体。
【請求項４】
前記第２の突出部は、第３の開口部を有し、
前記熱伝導部材は、第４の開口部を有し、
前記第３の開口部と前記第４の開口部を介して、前記熱伝導部材と前記筒状筐体とを固

定する固定部を有することを特徴とする請求項３に記載の筐体。
【請求項５】
前記第１の蓋部は、窪み部を有し、前記窪み部と前記第１の突出部とが嵌合され、
前記第１の突出部は、前記筐体の外部に露出しないように構成されていることを特徴とする請求項１から４のいずれか１項に記載の筐体。
【請求項６】
前記筒状筐体は、前記第１の方向に延在する溝を複数有する溝領域を有し、
前記溝領域は、前記筒状筐体を構成する複数の面のうち、少なくとも１つの面に形成されていることを特徴とする請求項１から５のいずれか１項に記載の筐体。
【請求項７】
前記筒状筐体の内部に、前記第１の方向に延在するガイド溝を有し、
前記ガイド溝に、前記熱伝導部材の前記第２の領域が設けられることを特徴とする請求項６に記載の筐体。
【請求項８】
前記筒状筐体の内部に、前記第１の方向に延在するガイド溝を有し、
前記筒状筐体の前記溝領域と、前記ガイド溝は、押出成形で形成されたことを特徴とする請求項６に記載の筐体。
【請求項９】
平面視において、前記発熱体の主面の外延を覆うように、前記熱伝導部材の前記第２の領域が設けられていることを特徴とする請求項１から８のいずれか１項に記載の筐体。
【請求項１０】
前記筒状筐体の中に、前記筐体の外部に設けられた撮像装置から出力された画像データ信号が入力されるコネクタが設けられており、
前記発熱体は、前記コネクタから入力される前記画像データ信号を処理する信号処理部であることを特徴とする請求項１から９のいずれか１項に記載の筐体。
【請求項１１】
前記筒状筐体は、金属で構成されていることを特徴とする請求項１から１０のいずれか１項に記載の筐体。
【請求項１２】
前記熱伝導部材は、金属板で構成されていることを特徴とする請求項１から１１のいずれか１項に記載の筐体。
【請求項１３】
前記筒状筐体は、第１の側面、第２の側面、上面、底面を有し、
前記第１の側面と前記上面とで構成される第１の角部において、平坦面を有することを特徴とする請求項１から１２のいずれか１項に記載の筐体。
【請求項１４】
前記第１の角部において、第１の湾曲部を有することを特徴とする請求項１３に記載の筐体。
【請求項１５】
前記筒状筐体は、前記第１の蓋部と接する第１の接合面を有し、
前記第１の蓋部は、前記筒状筐体と接する第２の接合面を有し、
前記第１の接合面と前記第２の接合面に、前記筒状筐体と前記第１の蓋部とを固定する嵌合部材が設けられており、
前記嵌合部材は、非アルマイト処理のアルミニウムで構成されていることを特徴とする請求項１から１４のいずれか１項に記載の筐体。
【請求項１６】
前記筒状筐体の外装と前記第１の蓋部の外装は、アルマイト処理されたアルミニウムで構成されていることを特徴とする請求項１５に記載の筐体。
【請求項１７】
前記熱伝導部材と前記筒状筐体の間に伝熱シートが配されていることを特徴とする請求

項１から１６のいずれか１項に記載の筐体。